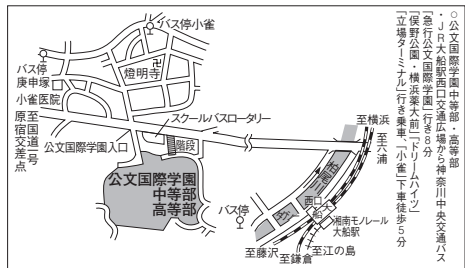


公文国際学園 中等部 高等部

〒244-0004 神奈川県横浜市戸塚区小雀町777 ☎045-853-8200 学校長 梶原 晃



〈URL〉 <https://www.kumon.ac.jp>

沿革 公文式学習の創始者である公文公により設立されました。1993年に中等部を開校、1996年に高等部を開校。2008年に公文毅記念講堂および新校舎（グリーンゾーン）が完成。2012年にグラウンドをリニューアル（人工芝に）。2014年から2018年まで、文部科学省のSGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定されました。

校風・教育方針

公文国際学園には制服や校則がなく、生徒には「自ら考え、判断し、行動する」ことが求められます。生徒一人ひとりの個性を大切に、生徒の能力を最大限に伸ばすことにより、平和で豊かな国際社会を築く人材を育成したいと考えています。豊かな個性と確たる自立心を持つ人間の育成、創造性あふれる発想と高度な学力を持つ人間の育成、国際社会で活躍できる広い視野と行動力を持つ人間の育成を教育目標に掲げ、学園生活の中に反映され、教育活動の中で実践されています。

カリキュラムの特色

授業は2週で1セットになっています。全年齢60分授業を行っています。高2から文系と理系の選択を前提とした選択科目が増え、高3で文系と理系にはっきりと分かれ、必修の授業と自由選択の授業が用意されています。

国語の授業では、豊かな読解力、思考力、表現力を身につけさせるとともに、言葉を大事にする生徒を育てていきます。さらに自国の文化を深く理解するとともに、他国の文化を理解し、受容を

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



していく態度を育てます。高校から習熟度別の授業を行っています。

数学の授業では、基本的な知識や技能の習得を図るとともに、それらを活用して課題を解決していく豊かな思考力と、主体的な学習姿勢を育てます。中1から習熟度別の授業を行っています。

英語については、入学時の英語学習の経験度により、少人数での経験度別の授業を行っています。帰国生が中心のクラスは、ネイティブ教員の授業の割合が7割、日本人教員の授業が3割、その他のクラスは、日本人教員の授業が7割、ネイティブ教員の授業が3割となっています。

高2になると、科目の選択を自分の興味、関心や希望する進路に合った形で行うことが可能となっています。高2の後期からは、難関大学への受験に向けた「学習ゼミ」が放課後に行われています。

公文式の教材を使った学習も行われており、中2までは必修で数学の学習を行います。希望すれば、国語と英語の学習も可能となっています。もちろん、中3以降も学習をそのまま続けることが可能となっています。

環境・施設設備

豊かな自然に囲まれた広大な敷地の中に、3つの校舎と男女寮が併設されています。職員室の前には、学習スペースが設けられ、放課後の自習の場として活用されています。図書館には洋書も含めた数多くの書籍やDVDが収蔵されています。

2期制 登校時刻 中8:20 高8:40 昼食 弁当持参、食堂、売店 土曜日 休日 寮

また、集会や公文式の学習でも利用されているホール、パソコンを使うことができるPCルームやメディアセンター、体育館の機能を備えた講堂、人工芝のグラウンド、屋内プール、テニスコート、ビーチバレーコート、ハンドボールコートなどの文教施設が完備されています。

生活指導・心の教育

生活指導は、自由と自立を重んじ、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、その能力を最大限に引き出して国際社会を築く人材を育成する、という教育方針に則って行われます。国際学園にふさわしい風土を培うため、あえて制服や校則はあかず、生徒一人ひとりの生活のあり方、権利、義務を表した「公文国際学園生徒憲章」を掲げています。

学校行事・クラブ活動

2大行事は、体育祭と表現祭（文化祭）になります。いずれも生徒が主体となって、実行委員会を立ち上げ、教員がサポートをする形で、企画や

運営が行われます。「体験」を重視した学年ごとの行事もあります。中1では「ふれあいキャンプ」、中2ではいろいろなアクティビティにチャレンジをする「冒険型体験学習」、中3では「日本文化体験」が行われます。「日本文化体験」では、興味のある日本各地の文化をテーマとして選び、プレゼンテーションを行いながら、最終的に6つにコースを絞ります。9月の下旬に現地に向かい、研修を行い、論文としてまとめるプログラムです。さらに高2ではLEEと呼ばれる、英語で学ぶ約1週間の研修行事を行います。ニュージーランド・大分（APU）から行き先が生徒が選択し、大学を活動の拠点として、大学生とのディスカッションやフィールドワークを通じて現代におけるさまざまな課題について学びます。

クラブ活動については、体育系は11、文化系は12のクラブが活動をしています。高校の男子バレーボール部はビーチバレーのみになりますが、毎年全国大会に出場し、好成績を収めています。科学技術研究部は、毎年ツインリンクもてぎで開催されるエコカーの大会に参加をしています。

データファイル

2024年度入試日程

必ず学校にご確認ください

中等部

| 募集人員 | 出願期間 | 試験日 | 発表日 | 手続締切日 |
|----------|------------|-------|-------|-------|
| A入試 110 | 1/9~1/24 | 2/1 | 2/2 | 2/2 |
| B入試 40 | 1/9~2/2 | 2/3 | 2/4 | 2/4 |
| 帰国生入試 10 | 11/27~12/8 | 12/16 | 12/16 | 12/16 |

高等部

募集を行っていません

2024年度選考方法・入試科目

中等部

A入試：2科（①国算、②国数、③国英、④数英のいずれか選択）

②、③、④は自己推薦書あり（なくても受験可）
〈配点・時間〉国・算・数・英＝各100点50分

B入試：4科
〈配点・時間〉国・算＝各100点50分 理・社＝各75点40分

〈面接〉A入試・B入試ともなし
帰国生入試：適性検査・英語（各100点50分）、面接

指定校推薦枠のある主な大学

横浜市立大 学習院大 慶應義塾大 上智大 国際基督教大 成城大 中央大 東京理科大 法政大 早稲田大 北里大（医）など

2023年春卒業生進路状況

| 卒業生数 | 大学 | 短大 | 専門学校 | 海外大 | 就職 | 進学準備他 |
|------|------|----|------|-----|----|-------|
| 159人 | 121人 | 0人 | 2人 | 5人 | 0人 | 31人 |

2023年度入試結果

中等部 男/女

| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 競争率 |
|----------|---------|---------|-------|---------|
| A入試 110 | 124/130 | 121/123 | 77/79 | 1.6/1.6 |
| B入試 40 | 96/78 | 59/42 | 17/23 | 3.5/1.8 |
| 帰国生入試 10 | 7/17 | 6/17 | 2/12 | 3.0/1.4 |

入試説明会

要予約
必ず学校HPをご確認ください
10/7 11/3 12/2

公文式学習者対象入試説明会 9/16

見学できる行事

要予約
表現祭（文化祭）10/21・10/22
（入試相談コーナーあり）

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください